



よこはま地域 まちづくり

よこはま地域まちづくり
20周年ロゴマーク使用ガイドライン

基本形、横組タイプ

● 基本形



よこはま地域
まちづくり

● 横組みタイプ

ロゴマークの表示スペースが小さく、縦並びでは読みづらいときなどは横組タイプを使用できます。



● コンセプト

平成17年に横浜市地域まちづくり推進条例が施行されてから、令和7年10月1日に20年の節目を迎えます。横浜市の地域まちづくりの魅力を広めるため、「よこはま地域まちづくり」ロゴマークを設定するとともに、20周年の期間中に使用することのできる、20周年の取組を表現するロゴマークを設定しています。

よこはま地域まちづくりのシンボルマークは、まちづくりの主役である市民の方々が、旗を掲げて歩む姿をモチーフとしています。旗には、新しい活動を「旗揚げ」、活動を牽引する「旗振り」、活動を支援する「応援旗」の意味を込め、歩む姿は漢字

の「人」横浜の「Y」の図案にもなっています。

どことなくユーモラスな形から、まちづくりのにぎわい、楽しさ、親しみやすさを感じてもらいたいと思っています。

● 合わせて使用する書体について

よこはま地域まちづくりのロゴマークの近くに文章を設定する場合の書体は特に指定はないですが、R (Regular) ~ B (Bold) ゴシック体やサンセリフ体を推奨します。

※ロゴの独自性を守るために、設定されている保護領域の中には、他の要素を配置しないようにしてください。

保護領域、最小使用サイズ

● 保護領域

ロゴマークの独自性を守るために、設定されている保護領域の中には、他の要素を配置しないようにしてください。



● 正円への配置

SNSのアイコンなど正円内に配置する場合は、専用のデータを使用してください。



● 最小使用サイズ



● 禁止例



- ・変形しない
- ・縦横比を変えない



- ・書体を変えない



- ・保護領域内に図形を配置したり要素を付け加えたりしない



カラー

- シンボルマークの色は「横浜」「地域」「まちづくり」の3つをテーマにしています。

カラー表現する場合はデジタルデータを用いて、色の再現に努めてください。

| | | | |
|--|---|---|-------|
| 横浜 | 地域 | まちづくり | 反転 |
| C100% / M30% / K10% G121% / B192% #0079C0 DIC-182 | C35% / M35% / Y40% R179% / G164% / B148% #B3A494 DIC-549 | M30% / Y100% R250% / G190% #FABE00 DIC-206 | K100% |

横浜市民の8割が横浜のテーマカラーとして考えるブルー。横浜の広い空と海、港の色です。白に対するコントラストと洗練された明るさのバランスをとった色です。

地域を象徴する色として、ベージュを設定します。景観のベースとなる黄色味の鈍い色を用いることで、地域社会のやさしさや景観への配慮を表現します。

まちづくりのポジティブで活動的なイメージを象徴する色として、イエローを設定します。明るい黄色はまちを照らし方向を指し示す光も表現しています。

- カラー



- モノクロ単色



- 反転



カラーのロゴを用いる場合は基本的に白地としてください。

モノクロ表現をする場合や、ロゴマークの一部が見えづらくなるような背景色を用いる場合は、モノクロ単色や反転のロゴマークを使用してください。

- 禁止例



・色を変えない



・縁取りしない
・アウトラインで表現しない



・ロゴマークの一部が見えづらくなる背景色との組み合わせを用いない



よこはま地域まちづくりロゴマーク

20周年の期間終了後は、よこはま地域まちづくりロゴマークとして、以下に掲載するロゴマークを使用します。
使用にあたっての基本的なルールは、20周年ロゴマークに準ずることとします。

● 基本形



よこはま地域
まちづくり

● 横組みタイプ



● 正円への配置



● 保護領域



● 最小使用サイズ

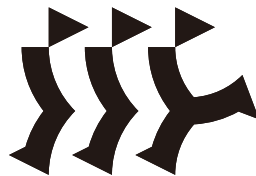


● カラー



よこはま地域
まちづくり

● モノクロ単色



よこはま地域
まちづくり

● 反転



よこはま地域
まちづくり